



目次

◆事務局からのお知らせなど.....	1
■Strix 36 号の原稿募集のお知らせ.....	1
■アンケートのお願い：農地の野鳥等生きものの保 全について.....	1

■会員数.....	2
-----------	---

◆事務局からのお知らせなど

■自然保護室より

■Strix 36 号の原稿募集のお知らせ

Strix(ストリクス：野外鳥類学論文集)は、当会が1982年より発行している、鳥類の生態の調査研究、繁殖や飛来、行動などの観察記録、総説、自然保護活動の事例紹介等を掲載する和文誌です。会員であればどなたでも投稿できます。

Strix 編集部の上田恵介当会会長(編集長、立教大学名誉教授)、三上かつら氏(副編集長、バードリサーチ)による論文指導のもとで、多くの査読者や英文校閲者のご協力を得て発行しています。

現在、Strix36号(2020年6月発行予定)への掲載に向けた原稿を募集しています。

Strixは、「原著論文」、「短報」、「総説」、「論説(自然保護レポートを含む)」、「観察会報告」、「書評」の6つのカテゴリーに分かれ、原著論文と短報、総説については査読があります。

「観察会報告」は、次号から新設されるもので、支部単位で行なっている探鳥会や観察会、個人の長年の観察記録のデータを掲載します。査読はなく編集部による校閲があります。1年1回の調査地であれば5年以上、毎月またはシーズンごとに調査している場所であれば3年以上のデータを取り扱います。投稿の書式については「投稿する人のために」をご確認下さい。

皆さまのお手元に調査研究のデータや観察記録などがありましたら、ぜひまとめていただき、ご投稿下さい。

https://www.wbsj.org/activity/conservation/publications/strix/strix_rule/

[原稿の送り先]

- ・Eメールの場合：hogo@wbsj.org
- ・郵送の場合：
141-0031 東京都品川区西五反田3-9-23 丸和ビル
日本野鳥の会自然保護室 ストリクス係



▲Strix 第35号 表紙

(自然保護室／山本裕)

■アンケートのお願い：農地の野鳥等生きものの保全について

田んぼや畑、牧草地といった農地は、農産物を作るだけではなく、国土の保全や水源の涵養、自然環境の保全といった機能をもっていることはご存知のことと思います。特に田んぼは、ラムサール条約で湿地の一つとして定義され、国内では5,668種もの動植物が確認されるなど、その高い生物多様性が国際的にも評価されています。ところが、生産性を最優先してきたあま

り、今日では日本でも農地の多くの動植物が環境省のレッドリストに掲載され、絶滅の危機が懸念されています。当会でもこれまでにサシバやナベヅル・マナヅル、ガンカモ類、オオジシギなどの保全に取り組んできました。

地方の過疎化や農家の減少で、今後はますます危機的な状況が予想されますので、より一層保護に力を入れていきたいと思っています。そこで、現在、農地(水田・畑・牧草地)で野鳥やその他の生きものの保護活動をしている、または今後計画している方がいましたら、情報をお寄せいただくと幸いです。今後の事業を検討する際に、参考にさせていただきます。



▲ガンカモ類、サギ類、シギ・チドリ類、猛禽類など様々な種が農地を利用

【アンケート】農地での野鳥等生きものの保護活動の事例について

(1)項目

- 1)対象種 2)実施環境(水田、畑、牧草地など)
- 3)実施場所(市町村名、地域名など) 4)実施年
- 5)取組内容 6)実施者(個人の場合は、〇〇地区住民など個人情報取り扱い上、差しさわりのない表現で結構です) 7)農家や農業関係者との連携の有無

(2)送付先

自然保護室 担当：伊藤 Eメール：ito-k@wbsj.org
TEL/FAX: 03-5436-2620/2635

(3)期限の目安

2019年12月末まで

なお、農水省で「多面的機能支払交付金(旧農地・水・環境保全向上対策)※」という、農地の多面的な機能を発揮・維持するため、農地の維持管理(畦の草刈りや水路の泥上げ等)や環境保全に活用できる交付金制度を設置しています。野鳥を含め動植物の保全活動に活用

できます。詳しくは、次号でご紹介します。

※農水省 HP 多面的機能支払交付金

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai.html



(自然保護室／伊藤加奈)

■会員室より

■会員数

10月1日の会員数は34,364人で、先月と比べ33人減少しました。9月の入会・退会者数の表をみると、入会者数は退会者数より21人少なくなっています。

会員の増減は入会者数と退会者数のほかに、会費切れ退会となった後に会費が支払われ会員として復活した人数によって決まります。

9月の入会者数は133人で、前年同月の入会者数86人と比べ47人増加しました。また、9月の退会者数は154人で、前年同月の退会者数138人と比べ16人増加しました。

表1. 9月の入会・退会者数

	入会者数	退会者数
個人特別会員	12 人	8 人
総合会員(おおぞら会員)	25 人	48 人
本部型会員(青い鳥会員)	21 人	21 人
支部型会員(赤い鳥会員)	49 人	51 人
家族会員	26 人	26 人
合計	133 人	154 人
年度累計	947 人	※

※会費切れ退会となった後に会費が支払われ会員として復活する方がいらっしゃるため、退会者数の年度累計は、実際の退会者数とずれた数字となります。

■都道府県および支部別会員数

野鳥誌贈呈者数を除いた数を掲載します。

表2. 都道府県別の会員数(10月1日現在)

都道府県	会員数	対前月差
北海道	1,660 人	0 人
青森県	245 人	-2 人
岩手県	367 人	2 人
宮城県	482 人	-2 人

秋田県	247 人	0 人
山形県	216 人	0 人
福島県	597 人	0 人
茨城県	879 人	-5 人
栃木県	680 人	-5 人
群馬県	609 人	0 人
埼玉県	2,093 人	-3 人
千葉県	1,558 人	-6 人
東京都	4,772 人	13 人
神奈川県	3,279 人	-5 人
新潟県	370 人	5 人
富山県	198 人	-1 人
石川県	271 人	-1 人
福井県	223 人	1 人
山梨県	268 人	-1 人
長野県	838 人	-6 人
岐阜県	458 人	-3 人
静岡県	1,301 人	1 人
愛知県	1,487 人	4 人
三重県	426 人	-4 人
滋賀県	292 人	0 人
京都府	806 人	-6 人
大阪府	1,989 人	1 人
兵庫県	1,276 人	1 人
奈良県	499 人	-4 人
和歌山県	193 人	1 人
鳥取県	197 人	8 人
島根県	170 人	1 人
岡山県	542 人	-4 人
広島県	557 人	2 人
山口県	365 人	0 人
徳島県	313 人	2 人
香川県	183 人	-2 人
愛媛県	352 人	-1 人
高知県	122 人	-2 人
福岡県	1,278 人	-4 人
佐賀県	192 人	-2 人
長崎県	205 人	-3 人
熊本県	393 人	1 人
大分県	219 人	-1 人
宮崎県	245 人	-1 人
鹿児島県	313 人	3 人
沖縄県	105 人	0 人
海外	11 人	0 人
不明	23 人	-5 人
全国	34,364 人	-33 人

備考：不明は転居先が不明の会員を示します。

表3. 支部別の会員数（10月1日現在）

支部	会員数	対前月差
オホーツク支部	254 人	1 人
根室支部	83 人	0 人
釧路支部	154 人	1 人
十勝支部	175 人	1 人
旭川支部	81 人	-1 人
滝川支部	46 人	0 人
道北支部	27 人	0 人
江別支部	19 人	0 人
札幌支部	304 人	2 人
小樽支部	66 人	2 人
苫小牧支部	162 人	1 人
室蘭支部	144 人	0 人
道南釧路	62 人	0 人
青森県支部	129 人	0 人
弘前支部	111 人	0 人
秋田県支部	236 人	0 人
山形県支部	200 人	0 人
宮古支部	86 人	0 人
もりおか	158 人	-2 人
北上支部	102 人	3 人
宮城県支部	454 人	-1 人
ふくしま	154 人	0 人
郡山支部	156 人	0 人
白河支部	38 人	0 人
会津支部	55 人	0 人
奥会津連合	7 人	0 人
いわき支部	109 人	0 人
福島県相双支部	17 人	0 人
南相馬	14 人	0 人
茨城県	778 人	-6 人
栃木県支部	668 人	-5 人
群馬	524 人	0 人
吾妻	41 人	0 人
埼玉	1,584 人	-3 人
千葉県	983 人	-3 人
東京	2,698 人	-3 人
奥多摩支部	801 人	5 人
神奈川支部	2,227 人	-9 人
新潟県	271 人	1 人
佐渡支部	33 人	0 人
富山	178 人	-1 人
石川	252 人	1 人
福井県	215 人	0 人
長野支部	442 人	-1 人
軽井沢支部	161 人	-2 人
諏訪支部	220 人	-5 人
木曽支部	23 人	0 人
伊那谷支部	75 人	2 人

甲府支部	185 人	-1 人
富士山麓支部	60 人	1 人
東富士	62 人	1 人
沼津支部	154 人	-3 人
南富士支部	253 人	3 人
南伊豆	40 人	0 人
静岡支部	336 人	0 人
遠江	396 人	-1 人
愛知県支部	1,100 人	6 人
岐阜	444 人	-5 人
三重	356 人	-3 人
奈良支部	447 人	-1 人
和歌山県支部	198 人	2 人
滋賀	289 人	-1 人
京都支部	768 人	0 人
大阪支部	1,853 人	-3 人
ひょうご	973 人	2 人
鳥取県支部	211 人	6 人
島根県支部	160 人	1 人
岡山県支部	508 人	-3 人
広島県支部	484 人	3 人
山口県支部	334 人	1 人
香川県支部	142 人	-2 人
徳島県支部	330 人	3 人
高知支部	107 人	-2 人
愛媛	323 人	-3 人
北九州支部	290 人	-1 人
福岡支部	544 人	0 人
筑豊支部	239 人	-1 人
筑後支部	161 人	0 人
佐賀県支部	233 人	-1 人
長崎県支部	192 人	-2 人
熊本県支部	384 人	1 人
大分県支部	213 人	-1 人
宮崎県支部	241 人	-1 人
鹿児島	287 人	2 人
やんばる支部	68 人	-1 人
石垣島支部	16 人	0 人
西表支部	44 人	0 人
	29,202 人	-26 人

備考：支部別の会員数の合計は、都道府県別の会員数の合計と異なります。これは、本部型（青い鳥）会員や支部に所属されていない個人特別会員が支部別の会員数に含まれないためです。

（会員室／厚目葉子）

支部ネット担当より

夏日だった 10 月上旬が嘘のように、すっかり肌寒さを感じるころとなりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。いつも支部ネット通信をご愛読いただき、ありがとうございます。

今月号では、Strix36 号発刊に向け、原稿募集のご案内を掲載しております。皆さまの様々な活動をぜひ、ご投稿ください。

■支部ネット通信は支部の代表の方に電子メールでも配信をしています。電子メールでの配信を希望される支部の代表の方は下記メールアドレスまでお気軽にお申し込みください。

日本野鳥の会

支部ネット通信

第 187 号

◆発行

公益財団法人日本野鳥の会 2019 年 10 月 28 日

◆担当

総務室 総務グループ

五十嵐真/林山雅子/浦野菜穂子

〒141-0031

東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

TEL : 03-5436-2620

FAX : 03-5436-2635

E-mail : sibu-net@wbsj.org